

361人カクレーン等を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	10~11	<p>本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。</p>	57	4	50101	30~ 49
2	2017	12	10~11	<p>本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。</p>	62	4	50101	30~ 49
3	2017	12	11~12	<p>被災者はエレベータシャフト内でエレベータ用間柱鉄骨の後付け作業を実施していた。揚重用チルホールとワイヤーを使用して間柱鉄骨を最上階（7F）まで揚重したが吊り代が少なくなり、間柱鉄骨の向きを変えられなくなった。レバールックを吊元のイーグルクランプに設置して、間柱鉄骨の向きを調整し、再度チルホールの巻き上げ作業を行ったところ</p>	26	7	30201	1~9

				ろ、イーグルクランプが外れ、間柱鉄骨を吊り上げていたワイヤーと単管パイプの間に左手を挟まれた。				
4	2017	10	8～9	金型係全室内の作業台の上で削出成形機の金型をメンテナンスする際に上下に装着した金型を外すため、ホイストで釣り上げ、ゴムハンマーで金型の両サイドを叩いて外していた。なかなか外れず20～30回叩いていると金型が揺れ出し、その揺れを止めるためについつい金型に左手を添えてしまい、右手で持っていたゴムハンマーを自分で自分の左手を殴打した。	36	7	170101	30～ 49
5	2017	10	0～1	A2橋台下り線側の側道を規制し、化粧板（長さ約6m幅0.9m重さ約400kg）の撤去作業中橋台に立ち、レバーブロックで化粧板を降下していた際、橋台側面にあるコンクリート壁に化粧板が接触し、降下の障害となった。レバーブロックが吊元から外れ化粧板が落下し胸部に接触した後、大腿部上に落下した。	42	4	30105	10～ 29
6	2017	10	8～9	本社工場内にて、給食用の弁当缶を収納しているステンレス製のラック（長さ1m80cm、高さ1m60cm）の片づけ作業中、ラックを殺菌室に押し入れる際に、入口部分の段差のところで急いでいたこともあり、力いっぱい押したときに段差を乗り越えるときの勢いでラックが左側に流れ、押していたラックと左側に置いてあったラックとの間に左手薬指を挟み負傷した。	34	7	10109	10～ 29
7	2017	9	11～ 12	車をリフトに上げ作業中、ミッションジャッキに角材をはめて移動した時にはずれて頭に落下した。頭と首を痛めた。	36	4	11701	10～ 29
				鉄道車両の配線引換工事のため、電線ドラム（直径1,50mm重さ140kg）に鉄パイプを通し、電線ドラムを回避させるため、ドラムジャッキを用意し片方をドラムジャッキに乗せもう片方をドラムジャッキに乗せようと持ち上げたところドラ				30～

8	2017	7	11~12	ムジャッキがぐらつき鉄パイプを持っている右手の方に電線ドラムが滑り電線ドラムの側板を止めているボルトのナットとドラムジャッキのストッパーの受け金具の間に挟まれ負傷した。	40	7	11502	49
9	2017	6	11~12	被災者は、現場作業終了後、作業員詰所へ戻るため階段を上っている途中、右足つま先を躓き両手をつく形で前のめりとなり、足首が急に伸びる状態で体勢を崩した時に受傷した。	41	19	11609	50~99
10	2017	5	11~12	当社工場内において、海藻（ヒジキ）を計量し選別台に戻る際、コンテナ移動のローラーの端に躓き転倒した。	52	2	10102	100~299
11	2017	3	9~10	構内にて、レール整理の目的でレールの下に半マクラギの受け台を入れるため、レール吊り上げ器にてレールを吊り上げていたところ、吊り上げ器の設置箇所の地盤が軟弱であったためレール吊り上げ器が転倒し、吊り上げたレールが左足甲に落下した。	24	6	30104	50~99
12	2017	2	16~17	ガーデン用品売場で商品の種ジャガイモが入ったカートを運搬している際に、向かいから歩いてくるお客様を避けようとし、カートをずらした際に、体と右手首をひねり、痛めた。	54	19	80209	—
13	2016	12	16~17	修理工場でトラクター本体に装着しているブームスプレイヤーを外す必要があり、天井クレーンでブームスプレイヤーの後方を二点で吊り、前方は油圧ジャッキを掛けてトラクター本体とブームスプレイヤーの間に体を入れていた。この途中で前方の油圧ジャッキが外れ、トラクターの後輪フェンダーとブームスプレイヤーの間に右腕を一瞬挟まれた。	68	7	11702	1~9
14	2016	12	8~9	プラント修理でベルトコンベアーのベアリングが破損していたため、ローラーをチェーンブロックで吊ってベアリングを	37	7	20202	1~9

				変えようと、ロッド棒を渡して吊ろうと上げていたら、左側が滑り落ち、左母指を挟んだ。				
15	2016	12	9～ 10	作業道の掛かり木処理で、被災者が法面の上にてチルホールでワイヤーを張り、相棒が掛かり木の元株をチェーンソーで切断していた。チェーンソーが挟まったため「ワイヤーをフリーに」という指示を受け、フリーにしたので掛かり木は伐れて、道下3m程落下した。同時にワイヤーも付いていき、引っ張られてワイヤーが抜けた。その時、ワイヤーの端が暴れて、左足下肢に接触したため挫創した。	53	6	60209	50～ 99
16	2016	10	17～ 18	トラックのミッションを取り外す作業において、フロントを1柱リフトで、リヤはフレームジャッキで上げていた。被災者は車両をおろす作業を一人で始めたが、大きな音がしたため近くで作業を行っていた他の作業員が車両へ駆けつけたところ、被災者が床とリヤバンパーに挟まれている状態で発見された。	60	7	11701	30～ 49
17	2016	10	9～ 10	食材の買い出しを終えて職場へ戻るため自転車にて走行中、考え事をしていたため、注意力が散漫となり、誤って道路脇の電柱に衝突し、左手及び口内を負傷した。	68	3	130201	30～ 49
18	2016	9	7～8	客先専用基材台車を指定場所まで右手で同台車ストッパー、左手でサイドバーを持ち運んだ。その後、被災者は後工程者が基材を取り出せるように右手でストッパーを上げた際、左手中指がパイプに挟まれ受傷した。	42	7	40301	—
19	2016	8	13～ 14	漬物加工場内で、自動袋詰め機械に横付けされている鉄の階段の最上段から野菜漬を投下する作業を終え階段を降りようとしたら、階段に右足が半分しか乗っていなくてバランスを崩し、右足が滑ってコンクリートの地面まで滑り落ち、尻もちしそうになったので右手を地面についた。	34	2	10103	10～ 29
				前々日にH鋼に取り付け済みであったアジャスタブルトロリ				

20	2016	8	9～ 10	とチェーンブロックを使用し、2名作業で約1500kgの軸受台下部清掃の為、40mmの受台用の養生板上から約150mm吊上げて停止させた1名が追加の受台用の養生板と清掃に使用する機材を取りに現場を離れ、他の1名は吊上げた軸受台を振れ留めの為に支えていた。その際、アジャスタブルトロリがH鋼から外れて軸受台が落下し、作業員の左足に落下し受傷した。	48	4	30302	1～9
21	2016	7	9～ 10	構内栈橋上にて、他作業員計6名で栈橋のボートダビット夜期作業点検中、操作を誤り昇降機ハンドルが右手の甲に強打して怪我をした。	54	6	40301	10～ 29
22	2016	7	10～ 11	雨水排水管を敷設するための掘削底盤で雨水配管を配管し、接続引きこみ中に、引きこみ用ワイヤーが切断した。切断したワイヤーにかけてあったレバーブロックを操作していた被災者の頭部へ、レバーブロックのフック及びシャックルが飛来し、ヘルメットの上からあたった。	52	4	30109	1～9
23	2016	7	9～ 10	荷物を積み終え荷締機で締め最後に一締めする時に、荷締機のドラムを締めるツメがギアから外れていた事に気がつかず、両手で力強く締めた所、フロアについているシャックルを固定する部分に左手甲を強打した。	33	3	40301	50～ 99
24	2016	5	11～ 12	商品（服）の保管作業をしていた際、商品を掛け終わったトロリーを移動させていたところ、トロリーレーンからトロリーが落下し右足拇指に当たり、骨折した。	68	4	10309	30～ 49
25	2016	5	16～ 17	工場内の金型開発部署において、金型を製造作業中、金型を起こそうとして、ワイヤーで吊りあげる際、ワイヤーが外れ、金型が右足の上に倒れ、右足甲を骨折負傷した。	29	4	11502	50～ 99
26	2016	5	13～	左フロント足回り部が大破した事故車両を積載車に積み込む際に、左ロックパネルのジャッキポイント部品にジャッキアップして車両走行補助具を装着する時に、位置調整作業で	50	7	11701	50～

			14	右手親指をロックパネルと補助具の間に添えたまま、誤ってジャッキを下ろし、右手親指をはさめて負傷した。				99
27	2016	4	10～ 11	現場にて、トラックの荷台の上で積荷のコイルを卸す際、固定してあるレバーブロックのロックが硬く、解除する為に手でたたいた。当日、手が腫れた。	51	3	40301	10～ 29
28	2016	4	10～ 11	2トントラックのタイヤ交換時、前輪車軸の左右にジャッキスタンドを噛ませ、ガレージジャッキでジャッキアップし、ジャッキスタンドを調整した際に、ガレージジャッキが外れ、車軸とジャッキスタンドに右手の指3本が挟まれ骨折した。	43	4	80204	1～9
29	2016	3	11～ 12	住宅新築工事現場で、屋根材料の荷上げ作業をしている時に、荷上げ機械の巻き上げロープに、ロープの作動が手動でありロープが露出であった為、巻き上げロープに指を挟まれた。	72	7	30201	1～9
30	2016	1	16～ 17	工場において、車両台車の側梁反転作業を行っていた。側梁を自力で手前に倒した際、勢いよく倒れ、作業台上のストッパーを越えて落下した。その際、側梁と床面の間に右手が挟まれた。	21	4	11503	1000 ～ 9999
31	2016	1	10～ 11	プラントにおいて、碎石プラントのクラッシャーに付いている歯板を移動する作業をしている時に、歯板にワイヤーをかけ固定するチェンブロックのフックにかけ上げようとした時に歯板を倒れないように手で押さえていて、一緒に作業していた従業員がチェンブロックを静かに巻き始めたが、上がる間際、不意に歯板が倒れかけ、ワイヤーが緊張してしまい、ワイヤーと歯板の間に左手が挟まれ、びっくりしてしまいとっさに力強く手を引いてしまい、中指と人差し指の第一関節より先を負傷した。	69	7	20209	30～ 49

40	2015	3	23～ 24	機械を搬出搬入するため、天井に吊されている送風機（約200kg位）の取除き作業を行っていた。持込みのチェンブロックを既設のアンカーボルトにスリングシャックルで玉掛けし、チェンブロックをまき、過重をかけた後、4つある長尺のネジをひとつずつ順番にとりはずしていた。3つ目をはずした際アンカーからアイボルトがはずれ1つだけネジが残った状態で送風機がずり下り長尺ねじとアングルベースに左手小指をはさまれ骨折、挫創した。	45	7	40301	30～ 49
41	2015	3	15～ 16	道具を片づけ整理している時、手がすべってチェンブロックを棚から落としてしまい、その際足に当たり足をケガした。	32	4	30302	1～9
42	2015	3	11～ 12	倉移動工事中に右腕上部分に作業中のワイヤーがはずれ、負傷した。	62	6	30202	1～9
43	2015	2	5～6	朝刊の配達中、配達先マンションの入口の手前で自転車を降りようとした時、バランスを崩し左側に自転車といっしょに倒れ左脇腹を打ち負傷してしまった。	75	2	80205	10～ 29
44	2015	1	9～ 10	工場内において、トラクターのタイヤを取り外す作業を行っていた時に、油圧ジャッキでトラクターを持ち上げたところ、ジャッキの固定レバーが解除されていたためジャッキが倒れてきて、支えようとした右手をバーの部分と本体部分の間に挟まれて負傷した。	66	7	80209	1～9
45	2014	12	16～ 17	クリーンセンター工場地下一階にて、活性炭吸着塔内の清掃点検整備終了後、マンホール閉鎖のためマンホール蓋（重さ約50kg）をロープで上から少しずつ降ろし、下で待ち受けた被災者が定位置に戻す作業中、工具を取ろうとマンホールの縁に左手をついた際、蓋の取っ手に掛けていたロープが突然滑ってバランスが崩れ、落ちてきた蓋とマンホール間に左手が挟まって負傷した。	71	4	30302	1～9
				地下一階病棟栄養室に於いて外側窓ガラス清掃中、三段の脚				500

46	2014	12	16～ 17	立の二段目に跨いで作業していたところ、バランスを崩し窓枠底面に接触した。	57	1	150101	～ 999
47	2014	11	16～ 17	倉庫に収納にしていた2 tチェーンブロックを屋外に搬出しようとした際、足元の小型ウィンチに右足がつかず左足を踏み外し、右膝を捻り床面で強打、右膝靭帯を損傷した。	64	2	30309	1～9
48	2014	11	18～ 19	工場内にて大型トラックの整備が完了し、補助脚の撤去作業後にジャッキを降下させている途中、デファレンシャルホーシングよりジャッキの受け皿が滑り、車両墜落させ下敷きになった。	58	4	11701	1～9
49	2014	11	0～1	駅構内で分電盤補修作業中、検査が終了し吊り上げていたレールを降ろしている際に斜めに傾いているボルトに気が付き直そうとしてレール下に手を入れた。その時にレールが下がり床板との間に右手中枢を挟まれ受傷した。	28	7	30104	100 ～ 299
50	2014	11	11～ 12	金段造場において、高温灯の整備及び組立作業中、チェーンブロックを使い高さ2mの位置より地上へ降りる際、チェーンが空回りし落下、左踵を強打し骨折した。	68	1	170101	100 ～ 299
51	2014	11	0～1	店舗内通路にて、メダルマシンの機体内からメダルを回収している時に、回収用ストッカーのキャスターが通路のコードカバーに引っ掛かり、ストッカーが横転して左足甲部と中指の間にあたり骨折した。	39	5	140309	30～ 49
52	2014	10	13～ 14	オイル交換の作業確認中、ピットに作業確認書を持って行った際、床が濡れており滑りやすかったためその場で転倒。起き上がろうとした時、そばにあったジャッキの柄の部分に眼球をぶつけ眼底骨折した。	20	3	80204	10～ 29
				厨房奥に外気処理空調機を運び天井吊り設置の作業中に、搬入通路が狭かったため外気処理空調機を立て台車に載せて移動し、寝かせる時、天井の鉄骨にスクリーングランプを掛				

53	2014	10	11～ 12	け、チェンブロをセットした。寝かせるため外気処理空調機にスリングを掛けて一度巻き上げ台車を角に入れた。チェンブロを下げながら寝かせていたところ空調機のモーター側が重いため傾きかけているのを被災者が支えていた。それを知らずに相方従業員がチェンブロを下げ、吊り芯が変わりバランスが崩れモーター側が下がり被災者が左足元を挟まれ負傷する。	40	4	30302	1～9
54	2014	10	11～ 12	当社整備工場内において、2 tトラックのクラッチ整備終了後、3 tエアジャッキを下ろして車両床下より抜く際、被災者の真後ろに同型のジャッキがあり、その車輪につまづき後方に転倒、そのジャッキに背中を打撲した。	67	2	11701	1～9
55	2014	9	2～3	倉庫内でピッキング作業中、パレットに積んだ荷物の間に伝票が落ちてしまった。それを探す為に、別の作業員が操作していたハンドリフトを少し上げた状態にしていたが、危険だと思い下降させたところ、伝票を探していた作業員の足がパレットの下に入っていて負傷してしまった。	27	7	170101	50～ 99
56	2014	9	13～ 14	被災者がコンクリートに枕木を置いた上で鉄骨フレームの溶接した箇所をディスクサンダーにて研削中に、共同作業員が被災者のサンダー掛けをしやすくしてやろうと、被災者に声を掛け、鉄骨フレームに仕掛けていた荷吊のチェンブロックを巻き上げた時、吊荷の鉄骨フレームが揺れ、床コンクリートの段差部分と鉄骨フレームの間に足を置いていた被災者の右足が挟まれた。	40	7	30201	1～9
57	2014	8	10～ 11	工事現場にて、機材を取りに移動した際、転倒し右膝を床コンクリートに強打した。	61	2	30301	10～ 29
58	2014	7	16～ 17	造船所ブロック組立場に於いて、鋼板をレバーブロックで吊りながら取付部へ接合中、前部のレバーブロックが鋼板から外れて落下し、左足の指先に当たり負傷した。	28	4	11501	10～ 29

59	2014	7	17~ 18	入荷スペースにて、商品の入荷計上作業を行っている際に、足元近くにあったハンドリフトに足が当たり、右第5中足骨を骨折した。	30	3	50101	30~ 49
60	2014	7	14~ 15	10tコンテナを30~40cmジャッキアップし、その下に入り込んで修理作業していたところ、コンテナが落下し背中に当たり、骨盤を骨折した。	48	4	150103	30~ 49
61	2014	6	13~ 14	がれきの破砕施設にある破砕機の部品交換中、カバーを開けて中央部のハンマーと呼ばれる部分をチェンブロックで吊上げをするとき、固着していたパーツが一気に外れて、その勢いで内部にいた被災者の方に振れてきて、自分の身体を支えていた右手が、機械本体と触れてきたパーツに挟まれた。	57	7	20202	10~ 29
62	2014	4	13~ 14	工場にてボールミル（茶葉粉粉碎機）整備中、機械の扉を吊り下げる滑車が、滑車を滑らせるアイビームから落下し、機械に置いた左手中指を直撃し同指を粉碎骨折した。	34	4	30309	1~9
63	2014	4	9~ 10	船内でエンジン修理中に荷物を吊り上げていたワイヤーが滑りワイヤーのフックが外れて荷物が滑落し、その荷物が左手第2指に当り指を切り、さらに左足下腿に当り打撲した。	63	4	70201	10~ 29
64	2014	4	11~ 12	ローディングアームの組立作業をした際に、油圧駆動のドライブリンクを取り付ける為に、ナイロンスリングをチェンブロックにかけ吊り上げた時、ナイロンスリングが外れ、ドライブリンクが落ち、右手人差し指を骨折した。	53	4	11209	1~9
65	2014	3	14~ 15	仕上前製品置場で、約50kgの異形管を台車に載せる為、吊り具を異形管に掛け吊り上げて台車に載せようとした時、台車の端に異形管が当たり、吊り具から外れ、右足の甲に落下し骨にヒビが入った。	46	4	11109	-
66	2014	3	14~	工場内において、油圧シャベルの整備作業中、カウンターウエイトを支えていた丸パイプを取り外すべく、ショベルの後部を油圧ジャッキで上げた後、パイプを取ろうとした時	35	7	11702	1~9

			15	ジャッキが突然下がり、カウンターウエイトとパイプの間に右手指を挟み負傷した。				
67	2014	3	14～ 15	工場内で乗用車の後部をジャッキアップする時に、ジャッキレバーロックをせずにジャッキハンドルを立てたままジャッキを移動してしまい、ジャッキハンドルの付け根部分を指で押さえていたためジャッキハンドルが倒れて指を挟んだ。	33	7	80202	100 ～ 299
68	2014	2	9～ 10	プラント工場内クラッシング設備バケットエレベーター部分にて緩んだチェーンの修理作業中、エレベーターを吊っていたチェーンブロック（2 t 吊）が外れて落下し、被災者の右手に当たり、人差指～小指を負傷した。	39	4	10909	1～9
69	2013	10	10～ 11	地盤の固さを試験していた際、ハンマーを手動で落下させ測定していたところ、誤って、手中指をハンマーとノッキングヘッドに挟んだ。	40	7	30209	1～9
70	2013	9	14～ 15	バルブをチェーンブロックで吊り上げたところ、バルブが足の上に落ちた。	29	4	11301	10～ 29
71	2013	9	2～3	ジャッキをセットしようとした際、ジャッキがレール間に手小指を挟んだ。	32	7	30104	10～ 29
72	2013	8	15～ 16	U字溝据付作業中、櫓を組みチェーンブロックを固定し、吊りロープでU字溝をセットし、規定値に置くため据付の調整を行ったところ、U字溝が振れ、U字溝と地面に手を挟まれ、手甲と小指を負傷した。	43	7	30106	1～9
73	2013	8	11～ 12	既設エレベーター上に被災者が乗り、ガラス材の搬入作業中、9階付近までエレベーターで上昇したところ、吊っていたチェーンブロックが上部より落下し、落下したチェーンブロックが被災者の上腕に当たった。	42	4	30201	1～9
			11～	機械の芯出しをしていた際、芯が合わなかったため、油圧				

74	2013	8	12	ジャッキで調整をしていたところ、機械の配管に挟まれた。	28	7	30302	1～9
75	2013	7	15～ 16	ポンプ点検作業中、台座を取り出すため、常設の電動チェーンブロックを利用して取り出した際、台座にフックをかけ電動チェーンのスイッチを共同作業者が入れたところ、フックが外れ、跳ね、被災者の顔面を直撃した。	54	6	10901	10～ 29
76	2013	7	17～ 18	パンク修理を終え、ジャッキ（20kg）を荷台に載せようとしてのせようとしてジャッキが落下（軽トラックのアオリを倒さずに無理な高さまで持ち上げようとしたこと、安全靴の着用を怠ったことが原因）。ジャッキの落下により、足甲を負傷した。	55	4	80204	1～9
77	2013	6	15～ 16	落輪車両への脱輪作業の際、腕で工具に力を加えた際、肘を骨折した。	53	19	170209	1～9
78	2013	6	9～ 10	モーター架台を横にする為、チェンブロックにワイヤーを掛け、倒そうとした際、ワイヤーがチェンブロックから外れ、モーター架台が倒れ、被災者の足に当たった。	54	4	30203	1～9
79	2013	6	15～ 16	板を裏返す為、クレーンで吊り上げようとした際、フックが外れ、板が倒れかかってきた為、手で受け止めたところ、負傷した。	42	4	11209	10～ 29
80	2013	4	15～ 16	チェーンコンベア取り外し作業中、上段から下段におろすため、チェンブロックで持ち上げた際、品物が揺れ、手を入れたため、ピット内コンクリートと品物に挟まれ、負傷した。	49	7	11301	1～9
81	2013	1	14～ 15	営業所車庫にて、クレーンのキャタビラー下部のローラーを交換中、油圧ジャッキが滑り、顔を負傷した。	52	6	40302	10～ 29
				駐車場にて、業務を終えた営業車のタイヤチェーンを取り外す際、車載ジャッキで車体を持ち上げ、後輪のチェーンを外そうとしたところ、タイヤの内側でチェーンが絡み、タイヤ				10～

82	2012	12	5～6	と車体の隙間に頭を入れ、絡みを外そうとしたところ、駐車場が緩やかな傾斜になっていたのでジャッキが外れ、下がってきた車体とタイヤに頭部を挟まれ、負傷した。	43	7	40201	29
83	2012	8	15～16	荷上げリフトの解体撤去をしていたところ、滑車に指が挟まれ、手の人差し指の関節を複雑骨折した。	25	7	30301	30～49
84	2012	8	9～10	車庫内にて、スペアタイヤの装着治具の曲がり直そうとレバブロックで補正を行っていた際、レバブロックのフックが外れ、跳ね、腿にフックが当たった。	45	4	40301	10～29
85	2012	8	10～11	物流倉庫内1階にて、木製パレットに商品を積んだ状態で、ハンドフォークを使い、パレットを移動させていた際、足の親指をハンドフォークのタイヤと床の間に挟んだ。	33	7	80401	10～29
86	2012	6	15～16	製缶塗装工場の板金Gr溶接作業場の定盤上にて、制御盤溶接後に筐体対角寸法が許容範囲外であったため、油圧ジャッキと木材を用いて調整していたところ、木材とジャッキが外れ、人差し指を挟み先端部1.5cmほど切断した。	44	7	11209	100～299
87	2012	6	12～13	到達立杭内にてシールドマシンの解体作業中、施回ベアリング（約1.3t）をチェーンブロックにより引き出している際、倒れ防止レバブロックのフックが突然外れ、被災者は倒れてきた施回ベアリングと立杭の補強リングとの間に挟まれた。	53	5	30102	1～9
88	2012	6	13～14	会社内のカンディングのコーナーで作業中、車を上げている下のジャッキとパーテーションの間に人差し指が詰まった。	36	7	11701	不明
89	2012	5	11～12	荷物を車両へ積み込む為、ハンドジャッキを使用し、引っ張っていた際、倉庫の積込口が車体より高く、下り坂になっていたため、勢い余って足先端に荷物が接触し、負傷した。	45	6	40309	10～29
90	2012	5	11～	カントリークラブ敷地内にて、乗用カートのタイヤ交換をするため、油圧ジャッキを持ち上げ、移動していた際、手元が	51	4	140301	50～

			12	滑り、ジャッキが足に落下。負傷した。				99
91	2012	4	17～ 18	大型バス修理のため、リフトを車輪に掛けていたところ、掛け方が正常でなかったため、リフトが車両から外れ、転倒。巻き込まれ、転倒。足をリフトと地面に挟み、骨折した。	28	7	11701	1～9
92	2012	4	17～ 18	洗濯物を干す竿をリフトで下げた際、リフトのハンドルを順手で持つところを、逆手で持ち、後ろを見ながらまわしたところ、白衣の袖がリフトに巻き込まれ、白衣の袖をはずそうとしたところ、ストッパーに触れ、解除され、ハンドルが急回転し、手に当たった。	20	7	10104	30～ 49
93	2012	3	11～ 12	鋼管足場を資材置き場から運搬するため、4 tトラックを資材置き場に置いた際トラック後部左側タイヤがパンクしていたためタイヤを交換するためジャッキを鋼板の上にセットしようとしてジャッキを移動したところ（鋼板を手で押さえ、反対の手で移動）、ジャッキが倒れ、鋼板とジャッキの間に中指を挟まれ負傷した。	33	7	30309	10～ 29
94	2012	3	11～ 12	工場前にて、軽トラからガレージジャッキを下そうと、ジャッキのハンドルを持ち、荷台から後ろに引いてジャッキ後部を先に地面につけ、前部を横に振って下げようとした際、全部が勢いよく落下、手前にあったハンドルが跳ね上がり、顎にぶつかり負傷した。	42	6	11702	10～ 29
95	2012	3	15～ 16	搾乳パーラーで搾乳作業中、頭の高さに吊り下げてあった金属製S字フックが眼に当たり、まぶたが裂けた。	34	3	70101	10～ 29
96	2012	3	11～ 12	H柱（鉄骨柱）にガセットプレート（鉄板）を取り付ける作業を行っていた。高さ65cm位の作業台で、重さが約100kgある鉄板を、チェンブロックを使い、角度の調整を行うが、チェンブロックの仮付けの仕方がしっかりできていなかったのが原因で、チェンブロックがばらけてしま	35	4	11209	1～9

				い、鉄板が自分の方に倒れてきて落下した。その際、足を逃しきれず、甲の上に落ち、負傷した。				
97	2012	2	8～9	工場内の作業定盤（地面より高さ15cm程度）に置いていたローター（円筒状、約500kg）を移動させる為、ローターを定盤より少し上がる程度に吊上具にて吊り上げ、転がしながら移動させていたところ、ローターがバランスを崩し、吊具ワイヤーから外れた為、ローターが倒れかかり、よれきれず大腿部にローターが乗った。	41	4	11702	不明
98	2012	2	11～12	工場内にて、トラックのギア（長さ60cm、10kg適度）を金属製の移動式補助クレーン（手動）に吊り下げて洗浄作業を行おうとした際、ギアを吊り下げるためのクレーンのバネ式のフックを斜めに伸ばしたところ、クレーンが転倒し、後頭部と肩に接触、挫傷、裂傷を負った。	21	6	11204	10～29
99	2011	12	10～11	工場内で、油圧ジャッキをかけて、自動車修理中、ジャッキが外れて左手に当り、車輻に強打し左手4指を負傷した。	52	4	11701	1～9
100	2011	12	13～14	A外溝工事で、被災者がミニクレーン（手動）を移動中、ブレーキの操作ミスで坂道を滑り下に停止してあった小型ドラグショベルに両足を挟まれた。	41	7	30199	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。